

出張族必見 新幹線「いまどき」利用術(第6回)

混み合う時期にも座席を上手に確保しよう！

2015.12.22



年末は、年始にかけて新幹線が混み合う繁忙期。正月休みに入る企業も多くなりますが、この時期の急な出張は、座席の確保が難しくなります。ほかにも、ゴールデンウィークや旧盆など年に数回ある長めの連休や、受験シーズンや引っ越しシーズンといった繁忙期での指定席確保はビジネスパーソンにとって悩みの1つ。今回は、そんな新幹線利用で知っておきたい「座席確保術」をお伝えします。

種別によって異なる指定席車両数

東海道新幹線では、「のぞみ」「ひかり」「こだま」の種別ごとに普通車指定席の座席数がそれぞれ異なります。グリーン車(指定席)は、種別にかかわらず8号車から10号車の3両になります。



普通車指定席の座席数が最も多いのは「のぞみ」。1号車から3号車までの3両は自由席ですが、グリーン車を除く4号車から16号車までの10両分が普通車指定席です。

「ひかり」では1号車から5号車が自由席、6号車から16号車までの8両分(グリーン車除く)が普通車指定席です。「こだま」は普通車指定席の座席数が最も少なく、11号車・12号車と16号車の3両のみ。1号車から7号車、13号車から15号車まで合わせて10両分が自由席で、ちょうど「のぞみ」とは逆の座席配分になります。

従って新幹線による都市間移動で座席を確保したいのなら、指定席数の多い「のぞみ」から覚えておきましょう。特に家族連れなど、指定席の確保を何より優先したい利用客が増える繁忙期は「ひかり」や「こだま」から混み合い、早くから座席が埋まる列車も少なくありません。

指定席の確保なら「新大阪のぞみ」「臨時のぞみ」が狙い目… 続きを読む